

<設備・機器の修理や新設>

部門 website に機器一覧，機器オンライン予約，お知らせ，申請書類ファイル，セミナー記録，技術講習会活動記録，ニュース、会議・講習会参加記などが掲載されています。最新情報は随時更新しています。ぜひご覧ください。 <http://shimane-u.org/index.htm>

機器のオンライン予約を行うためには、利用代表者のユーザーID およびパスワードが必要です。遺伝子機能解析部門事務までお問い合わせください。新たに予約オンライン化を希望される機器がございましたらご連絡ください。

中国地方バイオネットワーク受託サービスが行われています。中国5県の遺伝子関連施設が実施している受託サービスを利用することができます。詳しくは、中国地方バイオネットワーク連絡会議のHP (http://gene.yamaguchi-u.ac.jp/Chugoku_BNW_HP/index3.html) をご覧下さい。本遺伝子機能解析部門は共焦点レーザー顕微鏡観察受託サービスを担当しています。

キャピラリーDNA シークエンサー3500 Genetic Analyzer (306室)、リアルタイムPCR QuantStudio1 (306室)、オールインワン蛍光顕微鏡 BZ-X700 用 3D モジュール (306室)、CO₂ インキュベーター (404室) が導入されました。液体シンチレーションカウンタ Tri-Carb4810TR (202室) の修理を行いました。

<行事>

利用説明会を開催しました。

- 令和3年4月21日(水) 「2021年度 遺伝子機能解析部門利用者説明会(第1回)」
- 令和3年5月12日(水) 「2021年度 遺伝子機能解析部門利用者説明会(第2回)」
- 令和3年5月21日(金) 「2021年度 遺伝子機能解析部門利用者説明会(第3回)」

教育訓練を開催しました。

- 令和3年4月15日(木)～5月14日(金) 「放射線業務従事者再教育訓練(e-learning)」
- 令和3年4月28日(水)～5月31日(月) 「放射線業務従事者新規登録者教育訓練(Moodle)」

<技術講習会開催>

第158回 令和3年2月19日(金)

「オールインワン蛍光顕微鏡(KEYENCE BZ-X700)リアルタイム3Dモジュール操作説明」

第159回 令和3年4月20日(火)

「3500 Genetic Analyzer 利用説明会」(オンライン説明会の録画をMoodleに掲載)

第160回 令和3年5月19日(水)

「リアルタイムPCR QuantStudio1 利用説明会」(オンライン説明会の録画をMoodleに掲載)

<会議等報告>

第36回 全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会総会(令和2年11月13日 オンライン開催)参加記

標記総会と安全研修会に参加しました。今回は当番校佐賀大学によるオンラインで開催されました。

資料は中川が保存しています。ご覧になりたい方は中川までお知らせ下さい。

- 10:00～12:00 安全研修会
 「新型コロナウイルスを使用する遺伝子組換え実験への対応」
- 13:00～16:00 総会

<安全研修会>

1) 「新型コロナウイルスに関連した組換え実験申請状況と二種告示別表の改正（予定）並びに大臣確認実験の様式変更」文部科学省研究振興局ライフサイエンス課 生命倫理・安全対策室 専門官 寺野印成

別表の大きな改正の検討が紹介されました。3 省令第三条の表第三号の文部科学大臣が定める微生物等に SARS coronavirus 2 が掲載される予定です。組換え DNA 実験において新型コロナウイルスはクラス 3 として取り扱われるようになります。機関承認実験となります。2021 年 2 月 15 日に告示改正・即日施行されました。

2) これからのリモート安全教育

1. 「アンケートの回答結果と安全教育の今後」井原邦夫（名古屋大学・遺伝子協 組換え生物等委員会 委員長）
2. 「オンデマンド配信可能な安全研修用の動画と Web 小テスト」三浦竜一（東京大学・遺伝子共 教育教材 WG 座長）

令和 2 年度の組換え DNA 実験安全教育の実施形態、新型コロナウイルス関連実験申請の有無、核酸ワクチン実験、についてのアンケート結果が紹介されました。多くの機関において教育訓練がオンデマンドや同期型オンラインで実施されていました。

安全研修用動画と Web 小テストが紹介されました。動画は 2021 年 1 月 21 日に全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会会員に公開されました。島根大学における教育訓練でも活用する予定です。

<第 36 回 全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会>

- 1) 新規会員等の参加承認
正会員：横浜国立大学遺伝子組換え実験安全全問委員会
川崎医科大学組換え DNA 実験安全委員会
暫定会員：シスメックス株式会社 実験管理委員会
- 2) 文部科学省施策説明
 1. カルタヘナ法について
文部科学省研究振興局ライフサイエンス課 生命倫理・安全対策室
専門官 寺野印成
 2. 共同利用・共同研究体制の強化・充実について
文部科学省研究振興局 学術機関課 研究設備係（併）研究支援係
係長 齋藤正明

3) 事業報告

1. 遺伝子組換え教育教材動画の作成
三浦竜一（東京大学 教育教材 WG 座長）
2. 第 43 回分子生物学会年会参加
田中伸和（広島大学 代表幹事）
フォーラムプログラム
1F-04 遺伝子改変実験の安全管理の最前線
3. 第 12 回 遺伝子組換え実験安全研修会
(2020 年 7 月 25 日に神戸国際会議場で予定されていたが中止)

4) 委員会等報告

1. 幹事会（広島大学 田中伸和）
遺伝子協の将来構想について検討が行われたことが報告されました。（後述）組織体制についても検討が行われたことが報告されました。
2. 広報委員会（宇都宮大学 松田 勝）
3. 組換え生物等委員会（名古屋大学 井原邦夫）
カルタヘナ相談窓口の内容が紹介されました。
4. 教育教材ワーキンググループ（東京大学 三浦竜一）
3本の動画が紹介された。テストは作成中。
5. GeneDrive ワーキンググループ
(沖縄科学技術大学院大学 田中俊憲)
6. 続・ゲノム編集ワーキンググループ（広島大学 田中伸和）
7. 組換えカビ・キノコ・コケ等の拡散防止措置ワーキンググループ
(金沢大学 西内巧)
遺伝子協 HP での公開 (2020.5)
8. 実験計画書書式・審査検討ワーキンググループ（理研 吉織肇）
9. 将来構想ワーキンググループ（広島大学 田中）（後述）

5) 決算報告 2020 事業年度中間報告

6) 事業計画、予算案

7) 全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会の将来構想についての提案

遺伝子実験施設連絡会議が大学遺伝子協となったが、旧遺伝子実験施設以外の会員が 50%を超えている、研究設備等に関する情報交換へのニーズが低下している、遺伝子組換え実験の安全管理がより重要視されている、等により今後遺伝子組換え実験安全管理に特化する、組織名を変更する、体制を変更する、事務局を変更する、等が検討されていることが紹介されました。新体制は 2022 年 4 月 1 日開始が予定されています。

(中川)